

11th Annual Damon® JANUARY 18-21, 2012 FORUM JW MARRIOTT DESERT RIDGE | PHOENIX, AZ

デーモンフォーラム2012レポート!

デーモンフォーラム 2012 は、1月18日から21日まで、アリゾナ州フェニックスにて開催され、今回、日本より4人の先生が参加されました。岡崎 恵一郎先生、高 大松先生、武内 豊先生、星野 亨先生です。(50音順)
今回は各先生にお願いしてフォーラムのご感想を頂きました。会場の熱気が伝わるすばらしいレポートです！
ぜひ、お読み頂き、デーモンシステムの持つ魅力を再確認ください。また来年のフォーラムへのご参加の参考としていただければ幸いです。

11th Damon Forum に参加して

岡崎 恵一郎先生 (おかざき矯正歯科クリニック - 茨城県水戸市)
50音順

2011年の日本矯正歯科学会 Ormco ブースレクチャーにて発表させていただいたご縁で、11th Damon Forum に参加してきました。以前からアメリカでは実用化されているコンピュータ上で歯を配列しワイヤーも準備してくれるシステム、その技術を利用したアライナーなどの話題もありました。さらに、精度向上のため、印象をスキャンせず口腔内をダイレクトスキャンするスキャナーを間もなく実用化と新社長から発表もありました。

しかし、最もほしい情報はやはり Damon system 関連です。それに答えるように、久しぶりの Dr.Damon ご自身による講義などが General session (参加者全員にむけた講義)として午前中に2日間。また、1日半 Work shops (セッションに分かれた講義)があり、ブラケットポジショニングなどは Hands-on セミナーとして開催されました。Damon system 未経験と云う先生向けの Essentials Seminar も開催されています。

講義の中で私に関心があったのは Torque についてです。DamonQ・Damon clear から、ブラケットに組み込まれる torque が変更となりました。2011年3月、日本においても Damon clear の Variable Torque が発売され、それを装着した患者様の治療もだいに進んできました。

私の臨床では、II級症例の上顎前歯部トルクは、これまで軽度のII級非抜歯でも High torque を使用していましたが、Damon clear 以降、どうも High torque はII級ゴムを多用したり抜歯ケースに限定して良さそうだと考えています。その選択はトルクの変更により刷新されたトルク選択ガイドにほぼ準拠します。

今回、講演を聴いていると、基本的な torque 選択の法則は各講師同じですが、ボーダーケースの選択には多少の差があるように感じました。使用メカニクスのわずかな違い、エラスティクスのタイミングなど影響を与える因子は多々あるのかと思われます。

Damon system は、ブラケットの選択など新しい知識も必要ですが、大変効果的に歯が移動します。ぜひ、多くの講演を聴講し、その特徴を理解いただき、皆さんの臨床に役立てていただければと思います。



左から高 大松先生、岡崎 恵一郎先生、武内 豊先生、Dan Even 氏、星野 亨先生、弊社 小林、武内先生ご子息、前列：弊社 天野



岡崎 恵一郎先生 略歴

- 1988年 北海道大学歯学部 卒業
- 1992年 州立 Oregon Health Sciences 大学歯学部ポスグラジュエートコース(歯科矯正学)卒業
- 1995年 北海道大学大学院 歯学研究科 修了
- 1998年 おかざき矯正歯科クリニック開業
- ・博士(歯学)
- ・日本矯正歯科学会 専門医、指導医、認定医



7年目の再会

高 大松先生 (大松矯正歯科クリニック - 東京都豊島区)

50 音順

今から7年前の2005年2月、僕の矯正歯科人生の中で大きな転機がやって来ました。

それまで大学の医局で研修を積み矯正歯科クリニックを開業した後もいろいろなセミナーに参加して矯正を勉強してきました。

しかし、何か自分の感性に訴えかけるものがありませんでした。

『患者さんにとってもっと良い治療法が無いのか?』

『何か自分の感性にフィットしないな』

『もっと弱い力で、もっと自然な力で歯が動かないものなのか?』と自分の中で模索していました。

そのような時に Dr デーモンのコースを初めて受講して自分が求めている物がここにあると確信しました。講習会に出席していて鳥肌が立ったのは初めての経験です。

コースを受けながら何か得も知れぬ感動が沸いてきました。これが自分の探していた『何かだと』とそのとき気付きました。その後すぐにクリニックのシステム(治療法)をすべて切り替えました。

システムを切り替えることはすごく勇気の要ることです。今までの治療法をある所では否定しなくてはなりません。

それは今までの自分自身をも否定することになります。また、人間にとって『変化』は恐怖を伴いますので、人は『変化』を忌み嫌います。

しかし、自分の直感を信じて、自分の経験に裏付けされたその感性を信じるが必要だとその時思いました。

デーモンシステムを採用して、治療してみると自分の感性が間違っていない事にすぐ気付きます。

『何でこんなに歯が動くんだろう!』、

『早く歯が動き過ぎるんじゃないか?』、

『今までの矯正治療は一体なんだったの?』

患者さんよりも僕の方が驚嘆していました。

そうです、ローフォース、ローフリクションを採用したこのデーモンシステムは今までの矯正治療とはぜんぜん違う概念の歯の移動様相を示したのです。

最近ではこのデーモンシステムでの歯の早い動きにも慣れてきましたが、初めの頃は調整が終わって次の予約の日が楽しみでワクワクするほどでした。

それから7年、今年の初めにアリゾナ州 フェニックスで開催された第11回デーモンフォーラムに初めて参加して来ました。

日本で開催されるデーモンシステムのセミナー

とは違って、4日間の開催期間が全てデーモンシステムのためのもので参加者も世界中から1,200名以上です。ここにはデーモンシステムの『今』と『未来』がありました。

ここに来ればデーモンシステムの全てが判ると言っても過言ではないでしょう。

何で今まで参加していなかったか自分でも不思議ですし、もったいないことをしていたなと後悔するほどです。

今回最大の成果はデーモンシステムの新しい知見を習得することはもちろんですが、それと同等な成果はデーモンシステムを愛する素晴らしい仲間が出来たことです。

日本から参加された武内先生、星野先生、岡崎先生そしてご家族の皆様大変お世話になりました。

また、献身的なホスピタリティーで旅行中もサポートして下さったオームコ社の皆様(小林さん、天野さん)ありがとうございます。

楽しくそして大変思い出になる『旅』となりました。

まだ、デーモンフォーラムに参加したことが無い先生方も一度参加していただき自分で体感されることをお勧め致します。

日本の中の『デーモンシステム』よりも世界の中の『デーモンシステム』を見極めてください。



高大松先生 略歴

- 1988年3月 城西歯科大学歯学部卒業
- 1988年4月 明海大学歯学部 歯科矯正学講座入局
- 1989年4月 明海大学大学院歯学研究科 歯科矯正学専攻修了
- 1993年3月 明海大学大学院歯学研究科 歯科矯正学専攻修了
- 1993年4月 明海大学歯学部 歯科矯正科勤務
- 1993年12月 東京都豊島区巣鴨にて大松矯正歯科クリニック開設
- 1994年4月 明海大学歯科矯正学講座 非常勤講師兼任
- 2012年2月 東京都豊島区池袋にクリニック移転開設



Dr. Damon と高先生



熱気あふれる Dr. Damon の講演

第11回(2012年)デーモンフォーラムに参加して

武内 豊先生 (たけうち 矯正歯科クリニック - 千葉県市川市)

50 音順



武内豊先生略歴

北海道大学歯学部卒業・歯学博士
元 北大歯学部矯正学講座 助教授
たけうち矯正歯科クリニック院長
日本矯正歯科学会認定医、指導医、専門医
日本成人矯正歯科学会認定医、専門医
日本成人矯正歯科学会理事

第11回デーモンフォーラムは2012年1月18日から21日の4日間、アリゾナ州フェニックスで開催されました。私にとっては2006年から7回連続の参加となりました。デーモンフォーラムは2002年に第1回が開催され参加者は61名でした。その後倍々に増加し、2008年は1,692名と最高を記録しましたが、同年9月のリーマンショックの影響を受けて2009年は1,000人を大幅に割り込みました。2010年は1,073人、2011年は1,236人、本年は1,245人と回復の兆しが明らかに見られます。日本からは星野亨先生、岡崎恵一郎先生ご夫妻、高大松先生、オームコジャパンから小林功一様、天野明様、そして私の7名が参加しました。

本年のフォーラムはオームコ社の首脳陣の交代があったためか例年とは趣が違って、デーモンシステムの研修の場であると同時にオームコ社のマーケティングの場としての位置づけが色濃く出ていました。

今回のフォーラムのテーマは「治療の質、技術の向上そして発展を熱望する」でした。

18日はデーモンシステムの基本セミナーが英語、スペイン語の2会場制で同時開催されました。19日から21日の3日間が本セミナーで19日の午前はデーモン先生、フォレスト先生の基調講演が行われました。午後は1時間30分を1コマとする2コマのワークショップが行われ、興味あるワークショップを選択して受講することができました。

前半は7会場で同時進行している7つのワークショップのうちから Dr. John Graham “Do This, Not That! Critical Clinical Pearls for Damon System Success” を、後半は12のワークショップから Dr. Mike Mayhew “Management of Developing Malocclusion and Utilization of the Damon System” を選択して受講しました。

20日は午前中バグデン先生の基調講演とオームコ社の新しいスークンパーソンであるベサニー・ハミルトンさん(※)のインタビューがありました。ベサニーさんはプロサーファーでサーフィン中に鯨に襲われ左腕を失ったにもかかわらず明るく元気にサーファーを続けているとのことで、その勇気と活力そして明るい笑顔に聴衆は魅了され、スタンディングオベーションが自然発生的に起こりました。

午後はフリータイムでゴルフを楽しむ人、休養をとる人など様々でした。私は、高先生、小林さん、天野さんと、私の息子の運転でしばしの観光を楽しみました。ホテルから Cave Creek Road をドライブし、途中

Frontier Town に寄り、近くで美味しいメキシコ料理を食べ、Carefree まで行って大きな日時計を見ました。周囲の山々の植物は全てサボテンで土の色、サボテンの色が淡色で緑深き肥沃な日本の風景とは違って砂漠地帯にいることを実感いたしました。フェニックスは3回目でしたが初めて観光をしました。夜はガラディナーで生バンド演奏の中でフルコースのディナー、ダンス、そして、カジノでのポーカー、ルーレットを楽しみました。

21日は午前、午後共に2コマのワークショップが行われました。

午前8時から13ワークショップのうちから Dr. Dave Paquette “Aligner & Braces – A Combined Approach” を、午前10時から11ワークショップのうちから Dr. Juan Carlos Solorio “Achieving Functional & Cosmetic Results with Damon” を、午後は1時から12ワークショップのうちから Dr. Terry & Bill Dischinger “Progressive Advancements in Class II Correction Workshop” を、そして3時から11ワークショップのうちから Dr. Frank Bogdan & Tom Barron “Damon Bracket Placement Fundamentals Hands-on Workshop” を選択して受講しました。

今回はサンフランシスコ近郊に住む息子もフェニックスに来て、久しぶりに寝食を共にすることができ、私にとっては勉強だけではない有意義な時を過ごすことができました。

デーモンフォーラムでは数あるワークショップの中から興味のあるテーマのワークショップを選択して受講することができ、3日間で基調講演を含めると10近い異なったテーマの講演を受講することが出来ます。また、ブラケットの歯面への位置付け、下顎アドバンスメント装置の使用法など実習を含むワークショップもあります。

来年の第12回デーモンフォーラムはフロリダ州オーランドで開催されます。

是非ご一緒して日常とは違った自然環境の中でデーモンシステムについて勉強しようではありませんか！



アメリカでの Damon System のスークンパーソン、ベサニー・ハミルトンさんによるスペシャルセッション



活気にあふれるフォーラム会場



会場になった JW マリオット



タイトルテーマ：治療の質と技術の工場、そして発展を熱望する

※ベサニー・ハミルトンさんの公式サイトはこちらです
<http://bethanyhamilton.com/>

デーモンフォーラムに参加する目的は、何と云っても圧倒的な臨場感を味わうこと、そしてその中でアップデート情報を得ることです。毎年参加しても常に興奮のもとに新しい何かを学ぶことができます。さらに、参加する度に増えて行く友人達との再会も楽しみの一つです。特に会場はリゾートホテルがほぼ貸し切り状態であるために、ラウンジ、カフェテリア、バーで多くの友人達と情報交換もできます。講演について言えば、現在は一線を退きながらも、自分の研究を続ける Dwight Damon による基調講演は、毎年新しく、迫力も満点です。そして多くのワークショップは飽きることがありません。このように多くの参加者を集めるフォーラムが一時期のブームに終わっていないという理由を考えると、やはりハードとソフト両面での絶え間ないユーザーサポートがその根底にあるからです。

ハードウェアにおいて、Damon SL の発売以来、6 世代にわたる製品の開発は、98 年頃に Dwight Damon が、このブラケットの最初のモデル Damon SL を A カンパニーから発表、さらにオームコ社がその開発をテイクオーバーしたことで加速し、Damon 2 ブラケットとカップアーナイタイの特性を活かした .013、.014、.016 X、.025 というユニークなサイズのアーチワイヤーとともに、口腔周囲筋と相性が良いシステムとしてそのベースを完成させたことが本当の意味でのスタートとなりました。その後ブラケットの開発は、この 10 数年で Damon3、3MX、Q そして CLEAR と車のモデルチェンジ並みといえるほどめまぐるしいもので、現在アメリカではフルカスタムブラケットも登場しています。

一方、ソフト面について言えば、Dwight Damon がパッシブセルフライゲーションとハイテックエッジワイズワイヤーによるバイオメカニクスを”Biologically Sensible”や”Face-driven Orthodontics”という表現とともに Alan Bagden と世界各国で講演を始めたのが 2001 年頃で、ワイヤーの交換毎に治療フェーズを分けてその作用期間を提示して Workbook とともに、システムというソフトウェアをスター

トさせました。その頃は私もこのワイヤーとブラケットさえ使えば、あの臨床が出来るという錯覚を覚えていましたが、その一方で、どうしてもパッシブセルフライゲーションの本当のバイオメカニクスを、彼らのように自在に使いこなすことが出来なかった苛立もありました。そんな私にとって、デーモンフォーラムはそのソフトウェアの部分を中心して勉強し、疑問を解消する大事な機会でした。

フォーラムは基調講演とワークショップからなり、プログラムは聞き逃しのないように、構成されていますので、効率よく学ぶことが出来ます。また、聞き逃せない点としてはアップデートが頻繁にあり、特に昨年には、これまでの表現を見直して、分かりやすく、診断系も Macro, Mini, Micro Esthetic Analysis を中心に、前歯の位置についても具体的にになりました。さらにこれまでの一般的な、診断→治療計画といった流れから、イニシャルプランニング→ケースマネジメントと違った見方で、効率と完成度を高めるために実践に即して把握出来るように改善されています。またパッシブセルフライゲーションにおける、トルクへの考察は従来の結紮法との比較とともに、今後も続いて行くことでしょう。

このようなアップデートは、多くの優れた臨床医はもちろん Tom Pitts, Duncan Brown を始めとした多くの現職の臨床教授や、Hisham Badawi といった研究者が加わり、臨床と基礎両面からシステムとして考察を繰り返しているという背景に支えられています。毎年のようにハード、ソフトの両面で進化し続けるデーモンシステム、タイムリーにかつ効率的に学ぶには、デーモンフォーラムに出席するのが最も良い方法だと私は考えています。

来年のフォーラムはより多くの方のご参加をお待ちしております。



星野亨先生 略歴

日本大学歯学部卒業後、1984 年同大学院博士課程(歯科補綴学)を修了。1994 年ニューヨーク州ロチェスター大学大学院 Eastman Dental Center 矯正歯科プログラムを終え、2001 年から Damon System の臨床導入を開始。以後同システムについて、国内外の学会やフォーラムにおける講演など、積極的に活動中。現在は東京都港区と千葉県新浦安のオフィスで診療を行う一方、2006 年からロチェスター大学の臨床准教授として講義も行っている。Damon system official educator



熱気あふれる会場の風景



Damon System のスポークンパーソン、ベサニー・ハミルトンさんの勇姿がフォーラムのメインイメージとして使われていました。

The Damon Forum on February 13-16, 2013 at the JW Marriott Grande Lakes in Orlando, Florida

デーモンフォーラム 2013 予告

2013 年 2 月 13 日～16 日フロリダ州オーランドにて開催！ぜひご参加ください！

詳細、お申し込みは ORMCO のウェブサイトをご覧ください。

<http://www.ormco.com> → EVENTS → Ormco Events → Damon Forum2013

オームコジャパン サイブロン・デンタル株式会社 www.sds-japan.com

〒113-0021 東京都文京区本駒込 2-29-24 TEL 03-3945-0065 FAX 03-3947-0065

